



The 130th Anniversary of His Birth
TAKASHIMA YAJURO

生誕
130年
記念

高島野十郎展

2021.1.20(水) ▶ 4.4(日)
久留米市美術館(2階)

● 休館日: 月曜日 ● 開館時間: 10:00 ▶ 17:00 (入館は16:30まで)

入場料 一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※上記料金にて、石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
※チケットぴあ・ローソン等で会期1ヶ月前より前売券(600円)を販売(Pコード 685-259、Lコード 86700) ※身体障害者
手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。

写実の極致、
やるせない
人間の息づき



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

高島野十郎《菜の花》1965年頃 個人蔵

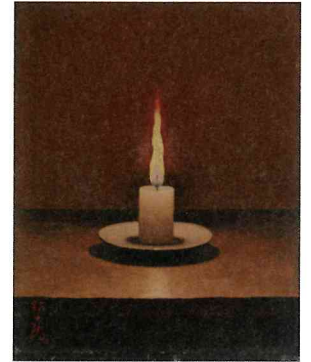
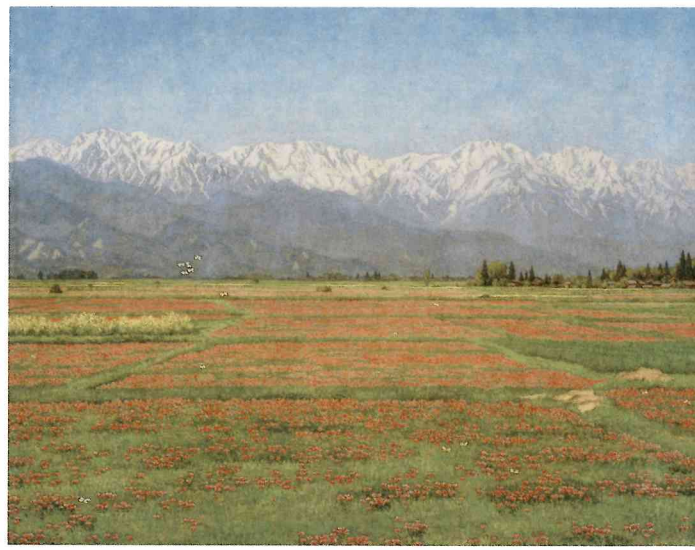
The 130th Anniversary of His Birth TAKASHIMA YAJURO

生誕130年記念

高島野十郎展

1890(明治23)年、福岡県久留米市に生まれた高島野十郎は、東京帝国大学農学部水産学科を首席で卒業しながらも画家へと転身した、異色の洋画家です。絵は独学、生涯独身を貫き、1975(昭和50)年に85年の生涯を閉じるまで、人里離れた田園に構えたアトリエで絵の制作に専念しました。その孤独と旅を愛した生涯と、強靱な精神力に裏づけられた静謐な絵画は、私たちの心を引きつけてやみません。

生誕130年を記念して開催する本展は、野十郎の故郷・久留米では10年ぶりとなる、待望の回顧展です。野十郎の豊富なコレクションを誇る福岡県立美術館の所蔵作品を中心に、近年の新発見の作品をあわせた総数115点により、いまだ多くの謎に包まれた野十郎の絵画世界をご紹介します。



〔上段〕れんげ草 1957年 個人蔵〔中段左から〕絡子をかきたる自画像 1920年 福岡県立美術館／ヘンドリック 1948年以降 久留米市美術館 下段左から 1935年 福岡県立美術館／からすり 1935年 福岡県立美術館／梨の花 1930、33年 一般財団法人惠愛園

美術講座 「高島野十郎の選択と決断」 2月27日(土) 14:00-15:30 《参加無料・要申込》

- 講師:西本匡伸氏(福岡県立美術館 学芸員) ● 会場:石橋文化ホール 全席自由
- 申込方法:参加希望者の氏名(2名まで可)と代表の方の郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAXで申込み。1月29日(金)必着。応募結果は2月6日(土)までに応募者全員へお知らせします。
- 申込先:久留米市美術館・美術講座係
〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015 FAX:0942-39-3134

みゆ〜ず・メンバーシップ講座 「野十郎が心を寄せたもの」 《要申込》

- 1月27日(水) 14:00-15:00(開場13:00)
- 講師:中山景子(当館学芸員) ● 会場:石橋文化ホール 全席自由
 - 参加費:みゆ〜ず・ミュージアム会員は無料(みゆ〜ず・スタンダード会員500円/一般1,000円)
 - 申込方法:石橋文化センター友の会窓口にて直接予約、または電話・FAX予約(電話:0942-33-2271 FAX:0942-39-7837)

主催:久留米市美術館、朝日新聞社、テレビ西日本 特別協力:福岡県立美術館
企画協力:TNCプロジェクト 後援:久留米市教育委員会、LOVE FM
スペシャルパートナー:株式会社ブリヂストン オフィシャルパートナー:学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー、株式会社CIG



- 福岡空港より西鉄高速バスで50分(文化センター前下車)
 - JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(快速で40分)
 - 西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
 - JR久留米駅より西鉄バスで15分、西鉄久留米駅より5分(文化センター前下車)
 - 久留米インターより車で10分(石橋文化センター内に有料駐車場あり)
- ※おおよその時間で記しています。

春の石橋文化センターは、梅(2月中旬〜3月上旬)、椿(3月中旬〜下旬)、桜(3月下旬〜4月上旬)などが見頃を迎えます。園内の散策もあわせてお楽しみください。